

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、創造的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える創造的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 評価の観点と内容および評価方法

	観 点	内 容	評価の方法
①	知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫している。	・アイデアスケッチ ・作品 ・学期末テスト
②	思考・判断・表現	・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	・学習の記録 ・アイデアスケッチ ・作品 ・作品制作や鑑賞活動に取り組む姿勢
③	主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・学習の記録 ・作品・ファイルなどの提出物の内容 ・授業に臨む姿勢

3 学習のてびき

使用教材	教科書：美術②③（光村図書） 副教材：美術資料（秀学社）、スケッチブック、絵の具セット 紙ファイル（配布プリントをまとめるもの）	
学習方法	学校	<授業> ・授業の準備をしっかりとし、忘れ物がないようにしましょう。 ・課題の説明をよく聞き、課題を理解し作品を作りましょう。 ・表現や鑑賞の活動に積極的に取り組みましょう。 ・道具を大切に扱い、後片付けをしっかりとしましょう。 ・提出物の期限を守り必ず提出しましょう。 <テスト> ・学習した内容を教科書・資料集・プリントを使って復習しましょう。
	家庭	美しいもの面白いものなどアイデアの種になるものを探しながら生活しよう。

4 年間計画 (2年生)

3 学期制	学習内容	学びの目標
1 学期	オリエンテーション 作品鑑賞 ピクトグラム マークのデザイン 鑑賞会 抽象絵画 モダンテクニック ポスター制作	○具体的な行為を表す形の特徴などに着目し、伝達のイメージなどをとらえ、絵の具などの特性を生かし、見通しを持って表す。 ○伝えたい内容やイメージ、伝える場面などをもとに、形や色彩などによる伝達の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ○ひと目で伝わるピクトグラムなどをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。 ○作品の良さや表現の工夫を形や色彩などから捉え、材料や用具を工夫して表す。 ○作品や、自分の感情や思いなどをもとに主題を見つけ、自分なりに工夫して構想を練る。 ○自分の見方や感じ方を深めながら、感情や思いなどを表したり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。
2 学期	鑑賞 ～世界と日本の美術作品～ 版画 ～季節感のある生活～ 鑑賞会	○構図や色彩、線などに着目し、日本美術の作風や印象がどのように生かされているかをとらえる。 ○ジャポニズムの表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通じた国際理解、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。 ○ジャポニズムの表現の特色や美しさ、時代背景などに関心を持ち、意欲的に取り組む。 ○形や色彩・材料などが見る人や使う人の感情に与える効果を理解し、意図に応じて見通しをもって表す。 ○季節感や、四季の風物から考えた事をもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。 ○自分の考えや見方を深めながら、季節感を取り入れた作品の構想を練ったり、鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。
3 学期	西洋美術史 プレゼン資料制作 鑑賞会	○道具や素材、表現方法に注目し、西洋美術史に大きな流れを理解する。 ○形や色彩、材料などに着目して制作された時代との関係などから作品の特徴をとらえる。 ○自分の考えや見方を深めながら、デザインの構想を練ったり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。

※年度当初の予定であり、授業の進捗状況などにより変更することがあります。